

訪問懷子

—ホウモンカイゴ—







ようこそ

佐伯さんよね？
よく来てくれたわ♪

——という
わけで

佐伯さんには
日中のお仕事を
お願いしたいの

夜は他の
ヘルパーさんにも
頼んでいるのだけど

その方と
交代制という
かたちで

なるほど…

目の前のご婦人
礼子さんは
見るからに高貴な
雰囲気身を
まとっている

チラシに
書いてあった
給料も本当
なのかも…

あっ
いけない

大事なことを
聞き忘れて
いたわ

佐伯さん
たしかご結婚は
されていたわよね

お子さんは？

いえ
まだ…

お腹の中にも
まだ？

え…あ
はい

そう
よかった

…？

ほら介護って
肉体労働じゃない？
もし身重の体なら
大変だと思って

ああ
そうですね

でもしばらく
子どもをつくる予定は
ないので大丈夫です

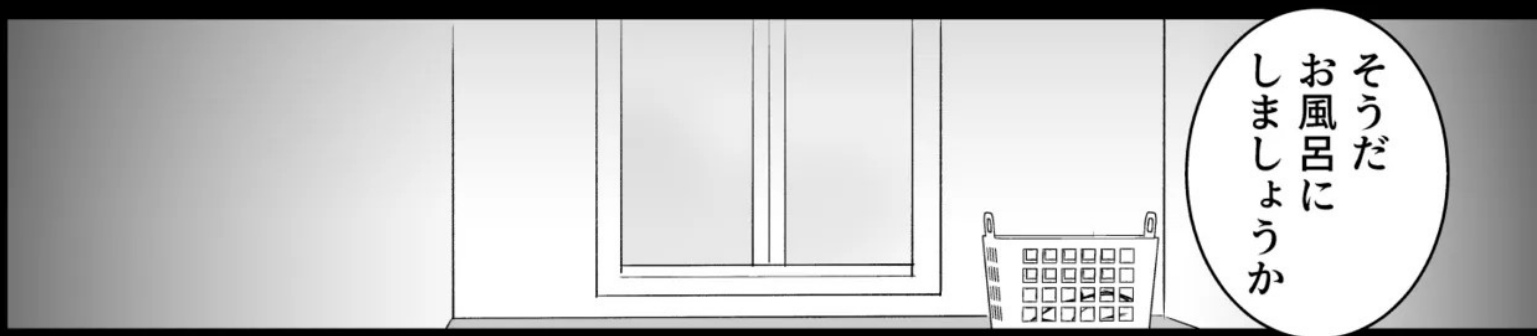
ふふっ

佐伯さんになら
安心して
任せられそうね

それじゃ
“夫”のこと
よろしくね

夫だったの!?







こんなお爺ちゃん
でも勃起するんだ…

これって…
勃起してる
…よね

ビク
ビク



旦那としばらく
してないせいだろうか
その屹立した
ペニスを見ただけで
体の奥がジンジンと疼く

じわあ



え？ 私
なにしようと
してるの？

ドンキ

そう これは
ただの性欲処理
お世話の一環
だから：

溜まっていると
つらいだろうから
スッキリさせて
あげなくちゃ

体はしわしわ
なのに
おちんちんは
ガチガチ：

夢中じゃぶり
ついちゃう：♡

ピク
グ
ッ

ブ
レ
ッ





なにこの精液
濃すぎ：❤

やば：❤
口に射精されて
完全に発情しちゃった



ま、まだ
おちんちん
大きいまま
ですね：



アソコにも
精液注いでほしい...！

ぬぎ

今度はここ…
おまんこで気持ちよく
してあげますから
またたくさん
出してください…

すじ…
一回出したのに
全然衰えてない

入っちゃう

硬あ…
♥

ギチ

おまんこ

おまんこ



おちんちん
すごお：
夫のよりずっと
硬くて大きい!!

膣壁が擦れるたびに
理性もゴリゴリ
削られるッ♥



こんなの
はじめて...♥♥



ホオ
これはなかなか
上物だな

ぐっ
あ
すっ
あ

良質な乳汁
が出そうだ

ハリのある肌に
ふくよかな乳房

ぐ
ん
ぐ
ん

グ
イッ

ぐ
る
ん

骨盤もしっかり
しておる
子を産むのに
申し分なし

ズ
チ
ャ

ズ
チ
ャ



万全な受胎を
果たすためには
さらに仕上げねば

んはあっ♡

あっあっ♡

あっ♡

クリ
クリ

お前は身も
心もワシに捧げ
母となるのだ

ロー
ロー

ブル
ブル

ああっ♡

イクツ
イッちゃう!!

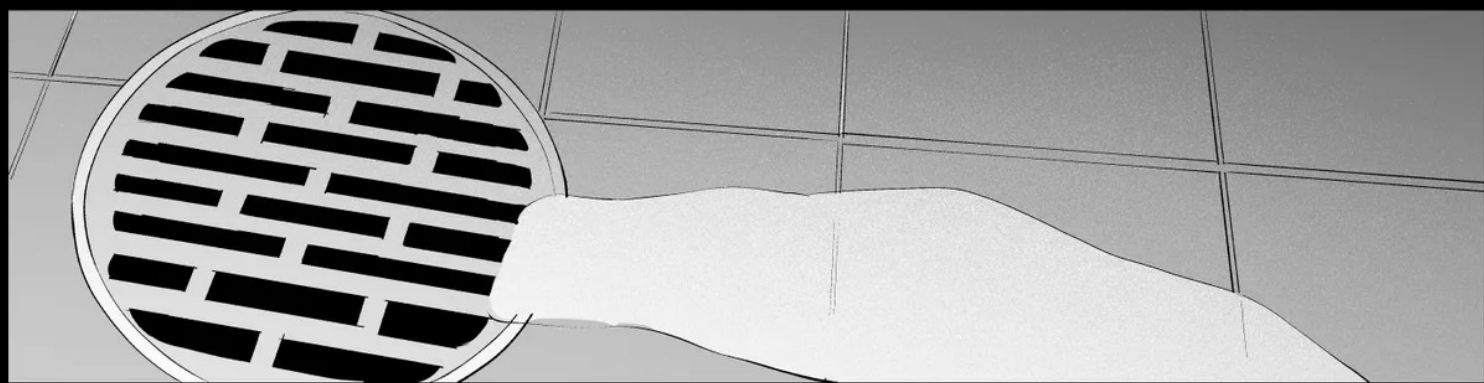
女としてうまれた
意味を知れ……

んん♡♡♡

オ
オ

シ
エ
ッ



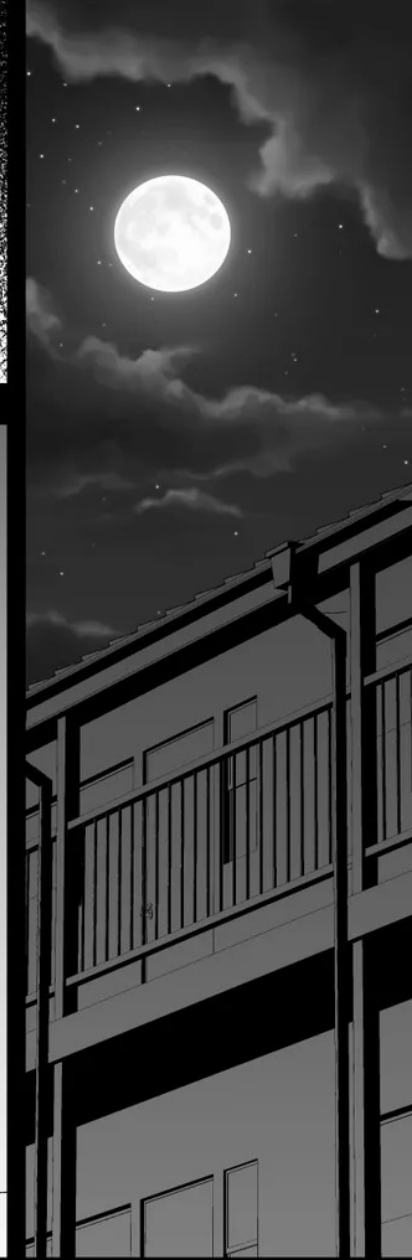




どうかしら
アナタ



佐伯さんは
合格?

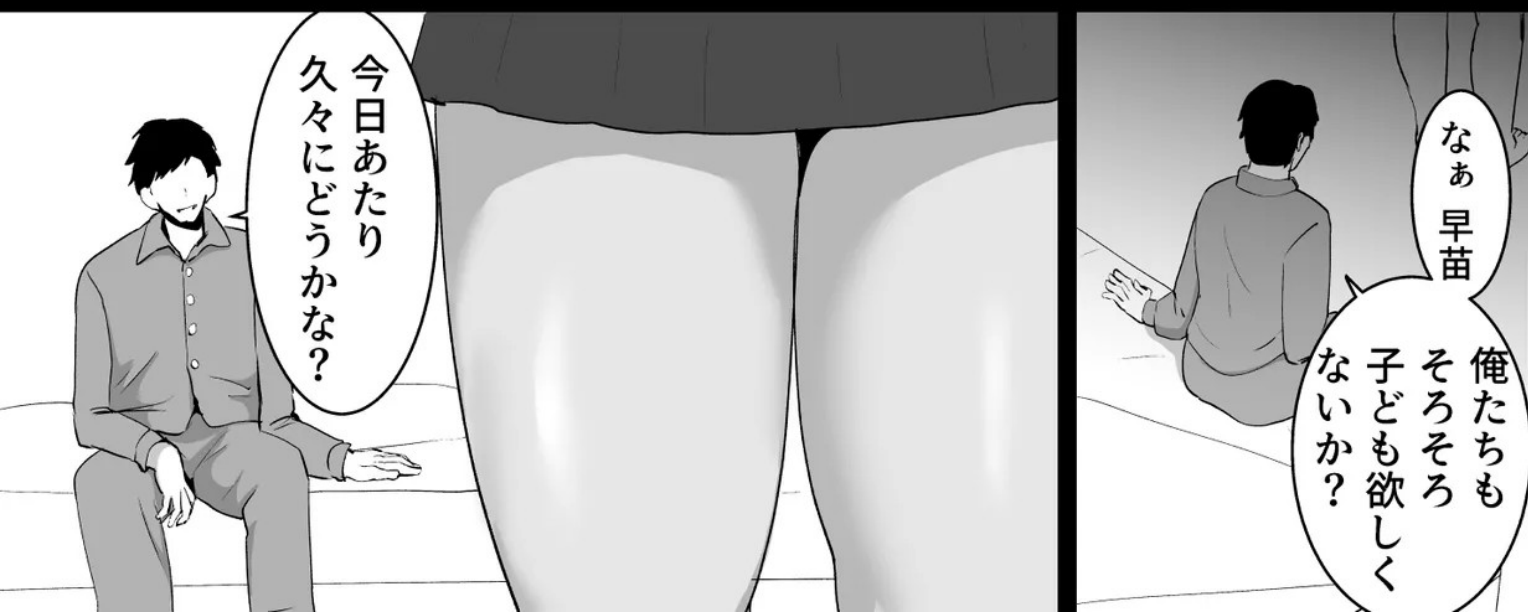


ゴボ



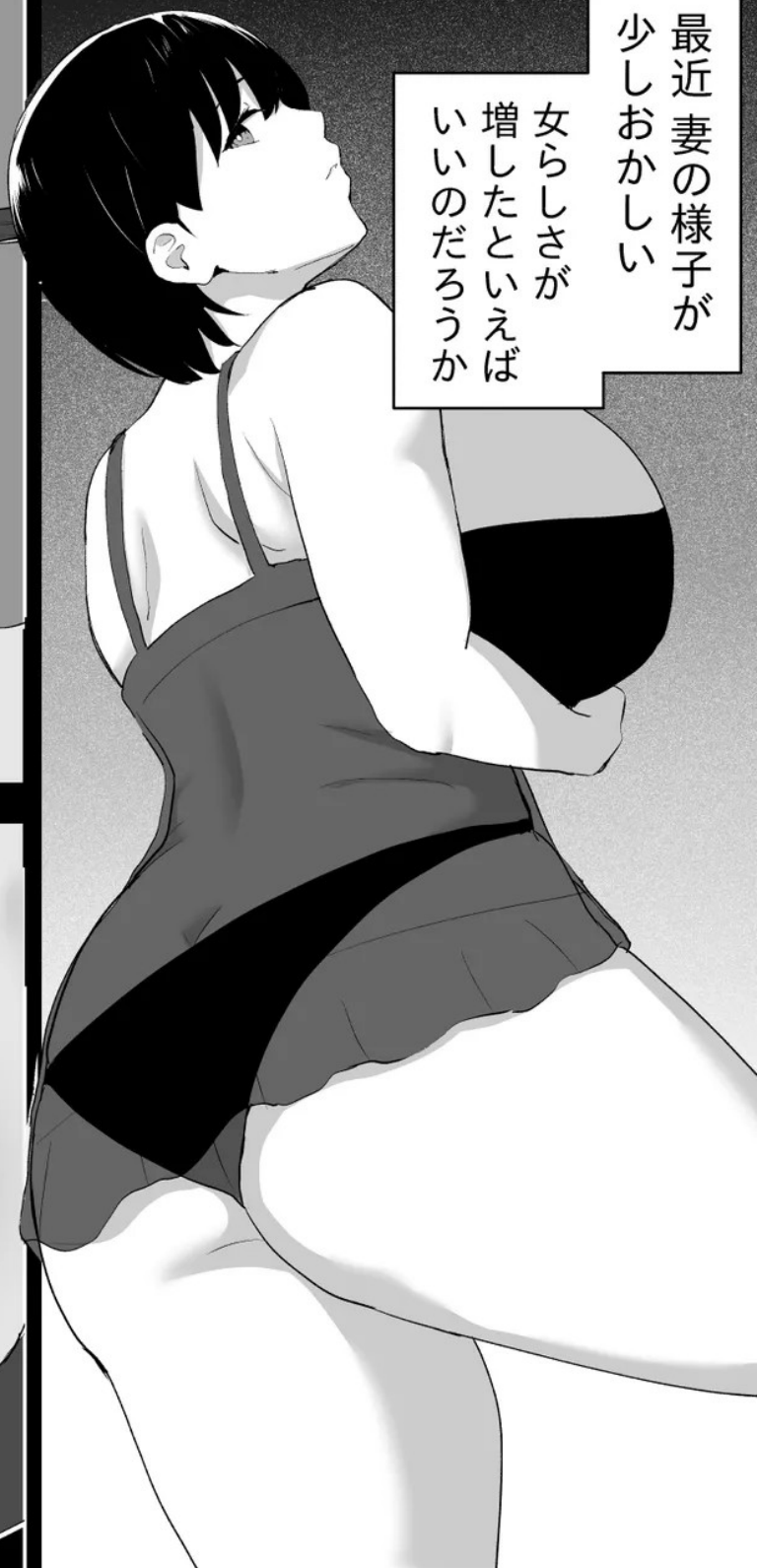
受胎に耐えられる
ようになるまで
まだ時間は
かかるだろうが

素質は
じゅうぶんある



最近妻の様子が
少しおかしい

女らしさが
増したといえ
ばいいの
だろうか



なんだか
艶やかになっ
た気がする



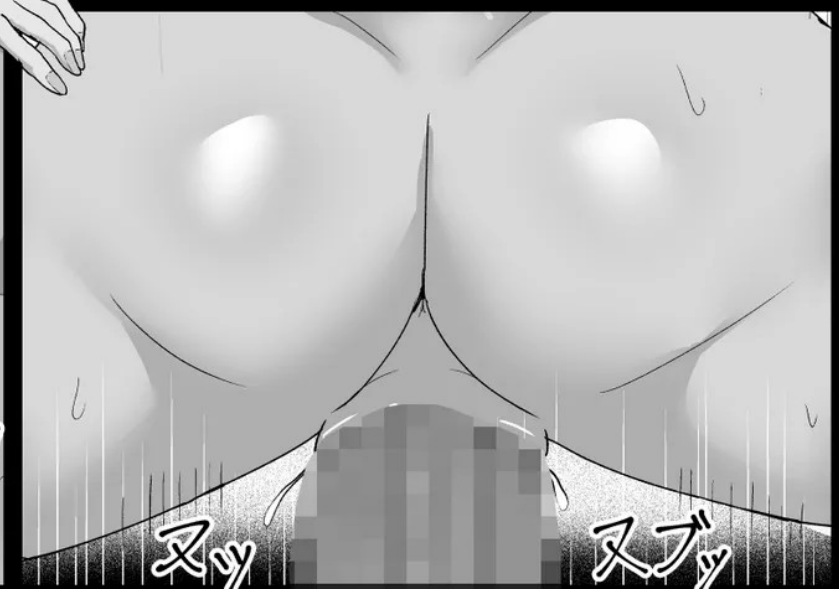
ごめんなさい
疲れて
クタクタなの

また
今度ね

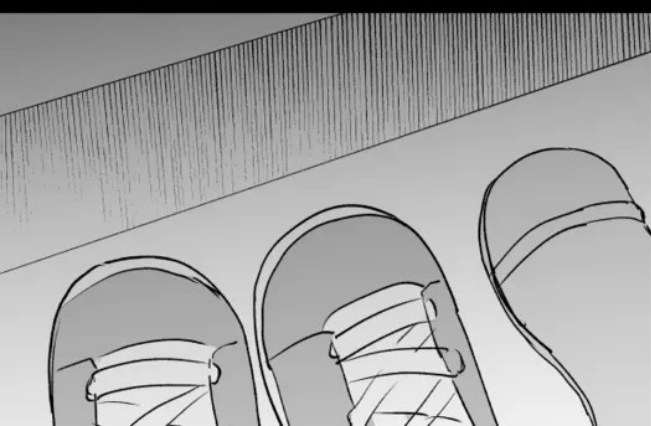
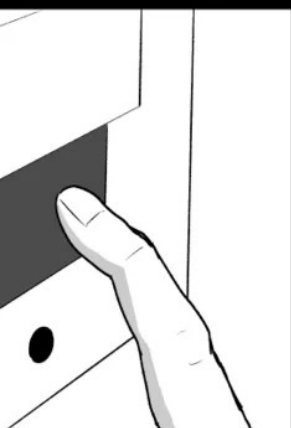
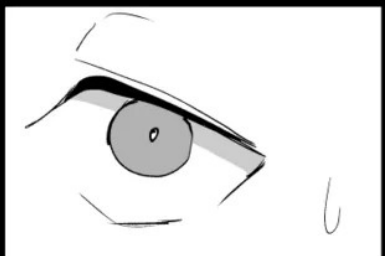
仕事と偽って
他の男のところ
に通っているとか…

まさかな
妻にかぎって
そんなことは…











本来ならば
私が母体となる
予定だったのですが

残念ながら
私は子を産めない
身体なのです

いったいなにを
言っているんだ
この人は

なっ
ちよつと!!

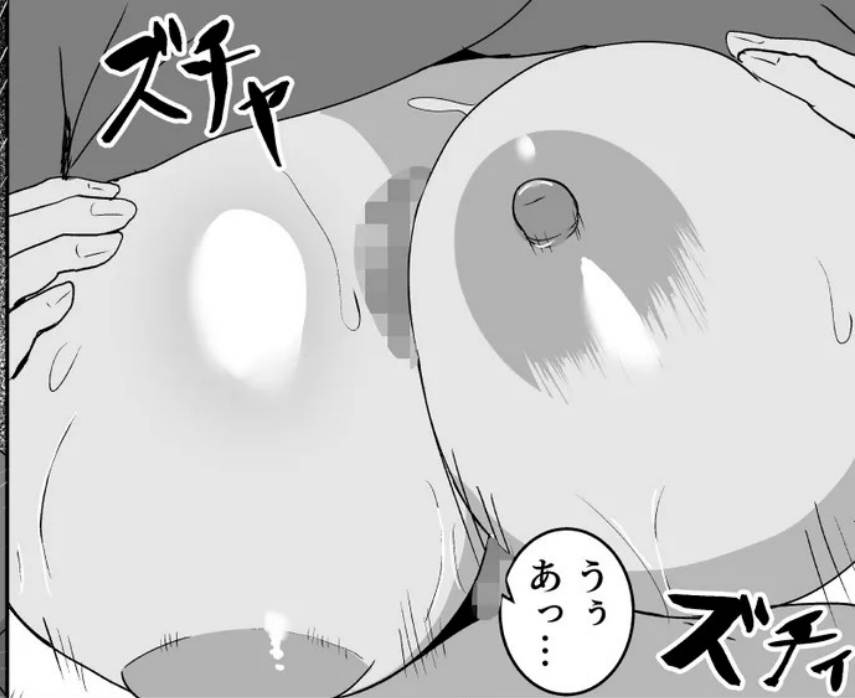
まあ
カチカチ…♡

哀れな者同士
慰めあいましょう?

ふふっ
胸には自信
ありますの

存分に
気持ちよくして
さしあげます♡

ボン







はあ…
あんなに愛してもらって
奥さまが羨ましい

ちよっと
嫉妬しちゃいます

りゅっ



ふふっ
このおちんちんも
限界みたいですね

うぐ…

奥さまとは
ずいぶん
シテいなかったの
でしょう？

どうぞ
遠慮なさらずに

溜まっているものを
ビューって吐き出して
ください♡

ズキヤ

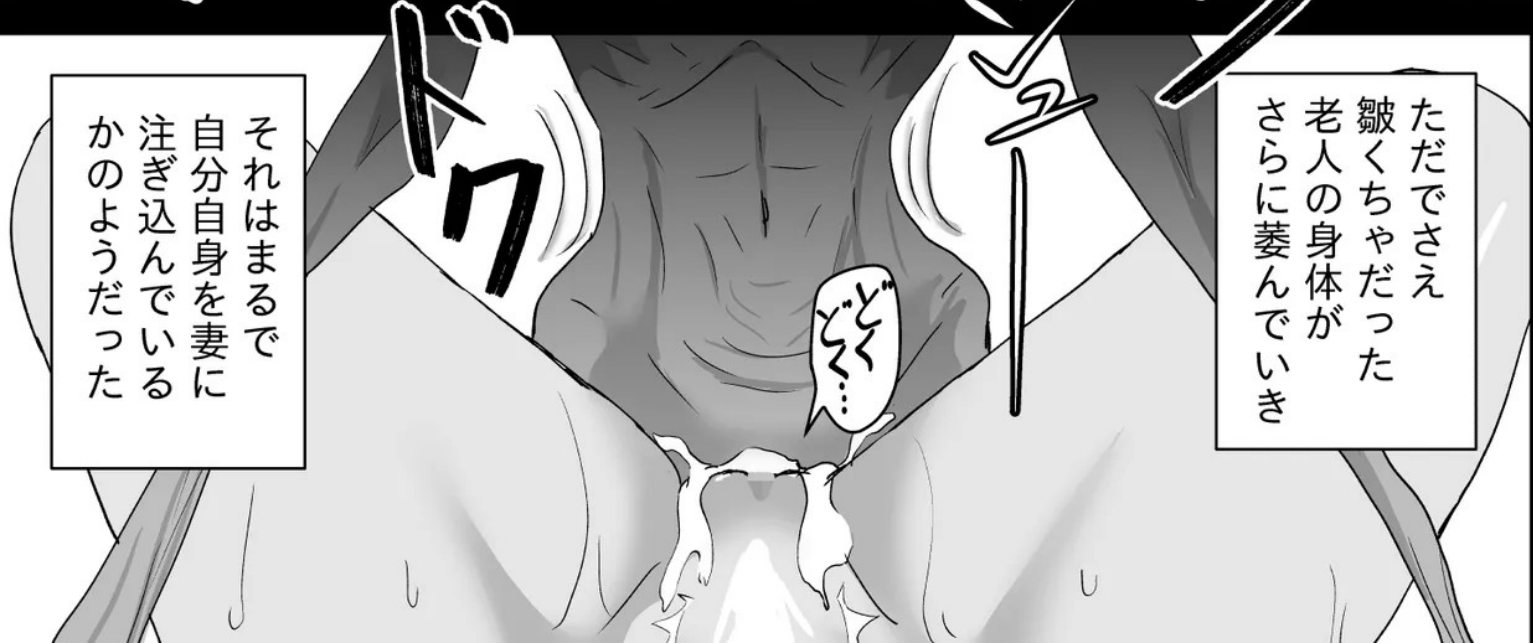
ズキッ





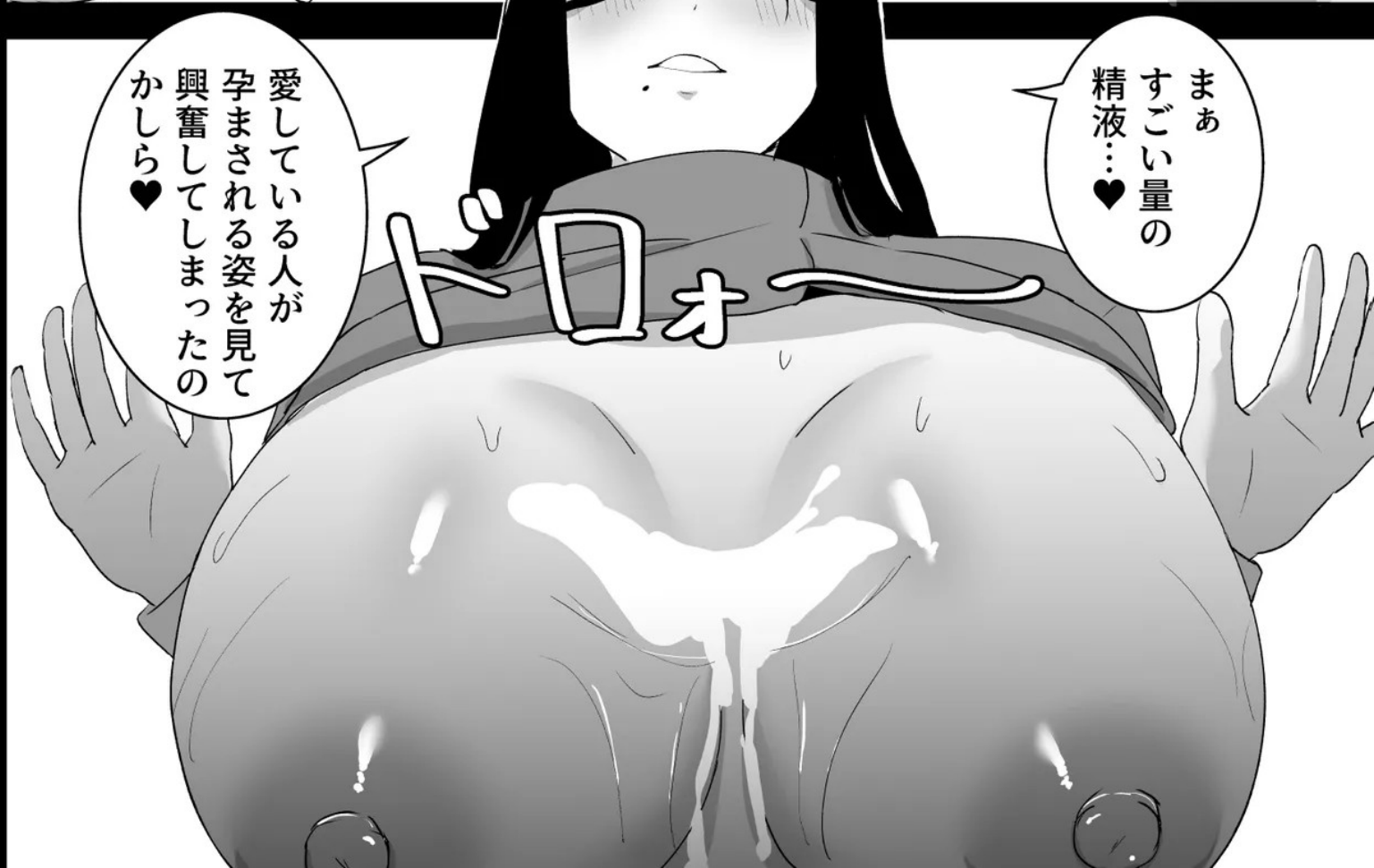


その時の異様な光景は
あとで思い返してみても
幻覚かなにかだったんじや
ないかと疑ってしまう



ただでさえ
皺くちやだった
老人の身体が
さらに萎んでいき

それはまるで
自分自身を妻に
注ぎ込んでいた
かのようだった





これから
一緒に育てて
いきましょね

ふふふ...



トクン
...

終